

教科	農業	科目	測量	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	F森林環境コース
使用教科書	測量 実教出版			使用副教材等	なし				

目標	測量に対する興味・関心を高め、測量に必要な基礎的知識と技術を習得させるとともに、環境保全や農林業に応用する能力と態度を育てる。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	測量に関する基本的な知識や技術を身に付けて課題解決に役立てることができる。実習においては、正確で迅速な測量や記帳、製図ができる。	測量を行う意義と役割を把握し、課題解決のために粘り強く取り組み、的確に対処することができる。	測量についての興味・関心を深め、実習では積極的に技術の習得を目指し、意欲的に取り組もうとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 小テスト 実習状況の観察 (実習内容を理解し、行動することができるか) 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 小テスト 実習状況の観察 (実習内での自身の役割を把握し、的確に判断できているか) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度の観察 (主体的・協働的に取り組んでいるか、ノートへの記入ははっきりできているか)

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> 座学と実習とのつながりを意識して授業に取り組んでください。 実習では特に時間厳守を意識し、服装や身だしなみを正しく整えて授業に臨むようにしてください。 実習服、関数電卓を使用します。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4 ～ 7	<ul style="list-style-type: none"> ○角測量について ・角測量と測角器械(セオドライト)の構造について理解する ・器械の据え付け方法と視準方法について理解する ・水平角と鉛直角の測定方法について理解する ・観測野帳の記入方法について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・角測量の役割、セオドライトの各部名称や構造を理解している(知) ・セオドライトを的確に据え付け、正しく視準することができる(知)(思) ・セオドライトを使用し、水平角や鉛直角の観測について真剣に取り組むことができる(知)(態) ・観測データを正しく野帳に記入し、計算の処理方法を理解している。(知)(思)
2	9 ～ 12	<ul style="list-style-type: none"> ○トラバース測量について ・トラバース測量の役割、トラバースの種類について理解する ・トータルステーションの機能について理解する ・トラバース測量の外業について理解する ・トラバース測量の内業について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラバース測量の意義と4つの種類について理解している(知) ・トータルステーションの機能を理解し、器械の取り扱いや操作方法を理解している(知)(思) ・器械を使用し、水平角や距離などの外業作業に真剣に取り組むことができる(知)(態) ・観測結果を野帳に正しく記入することができる(知)(思) ・角度計算や方位角の計算などの内業作業を理解し、真剣に取り組むことができる。(知)(態)
3	1 ～ 3	<ul style="list-style-type: none"> ○細部測量について ・細部測量について理解する ・細部点の測定、細部測量の計算について理解する ・GNSS(Global Navigation Satellite System)測量、平板測量を用いた細部測量について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・細部測量の意義と計算方法について理解している(知)(思) ・GNSS測量や平板測量の仕組みを理解し、真剣に取り組むことができる(態)